

大隅半島各地から商工業者が集結



11月7日・8日の2日間、霧島ヶ丘公園で「第6回かのやばら祭り」が開催されました。大隅半島各地の商工業者が集結した同フェスタには、95ブースが出店。当日は農畜産物や加工品などの販売、自動車やリフォーム用品などの展示・PRなどが行われたほか、ステージでのイベントが行われ、会場は親子連れなど約23,000人の来場者でにぎわいました。

星のふるさとを五感で楽しむ



11月7日・8日、鹿屋市輝北運動場と輝北コミュニティセンターで市制施行10周年記念「星のふるさと輝北まつり2015」が開催されました。前夜祭となる7日は舞台発表や大花火大会が、翌日には大江裕歌謡ステージや薩摩剣士準人ショー、文化協会等による作品展示、抽選会等が行われました。また、サンマの塩焼きの試食、ニジマスのつかみ取りも行われ、大勢の観客でにぎわいました。



秋の景色を楽しみウォーキング

11月8日、霧島ヶ丘公園とかのやばら園周辺で「第13回かのやばら祭りウォーキング大会」が開催されました。この大会は参加者の健康増進や交流を目的に行われたもので、当日はウォーキング愛好者など149人が参加。参加者は、バラやコスモス、開聞岳などの景色を楽しみながら、さわやかな汗を流していました。



かのやばら祭り2015秋

10月31日から11月23日まで、「かのやばら祭り2015秋」が開催されました。秋バラの見頃を迎えた「かのやばら園」では、国民文化祭の「フラワーフェスティバル」も同時開催。華道家の假屋崎省吾さんによるフラワーデモンストレーションをはじめ、各種イベント、体験教室、展示会なども行われ、来場者は、ばら祭りを楽しんでいました。



中央地区一帯が歩行者天国に

11月22日、中央地区商店街で「第37回鹿屋市秋まつり歩行者天国」が開催されました。約800mの歩行者天国に所狭しと飲食店が立ち並び、ステージショーや輪投げや迷路といったコーナーがあちこちに登場。この日は、大隅のこだわり品を集めた「おおすみハナマルシエ」やSHOW-1グランプリ地方大会、焚き火ライブ、新酒祭りもあり、大勢の来場者でにぎわいました。

戦後70年

戦没者の冥福を祈る



11月2日、輝北コミュニティセンターのホールで輝北町戦没者追悼式が開催されました。式典には、輝北町遺族会の会員をはじめ関係者67人が参列し、輝北町出身の戦没者に対し黙祷を捧げました。その後、戦没者に捧げるための詩吟の献詠や参列者による献花が行われ、戦没者の冥福とともに恒久平和を祈りました。

恒久平和の誓い新た



11月20日、市体育館で「鹿屋市戦没者追悼式」が行われました。これは第二次世界大戦で亡くなった戦没者の御霊を追悼し、恒久平和の実現を祈念するため行われたもので、当日は遺族や関係者など約320人が出席。中西市長が「現在の繁栄は先人の尊い犠牲の上にあることを忘れてはならない」と式辞を述べた後、戦没者の冥福を祈り献花が行われました。

表敬

着付けの全国大会で優勝



10月29日、美容室アズーリ(新川町)に勤務する郷司山美香さんが関係者とともに市役所を表敬訪問しました。これは郷司山さんが第43回全日本美容技術選出権大会の中振袖着付競技で、県勢初優勝をしたことから行われたものです。

スポーツ振興に大きく貢献



11月17日、37年の長きにわたってスポーツ推進委員としてスポーツ振興に大きく貢献したことが評価され、平成27年度スポーツ推進委員功労者「文部科学大臣表彰」を市内で初受賞された堀内航司さんが市役所を表敬訪問しました。

法務大臣表彰を受賞



11月6日、人権擁護委員として15年の永年にわたる功績が特に顕著であると認められ、10月に東京都で行われた人権擁護委員法務大臣表彰を受賞された、本村ヤス子さんが市役所を表敬訪問しました。

演劇の演出を高く評価



11月19日、「鹿児島県文化奨励賞 個人の部 演劇部門(演出)」を県内で唯一受賞された、高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」や県の国民文化祭オープニングなどの演出で活躍中の演出家松永太郎さんが市役所を表敬訪問しました。

深蒸し煎茶で茶農家7人が入賞



11月20日、9月に開催された県茶品評会の深蒸し煎茶の部で1等の農林水産大臣賞を受賞された岩元道弘さんから市内の入賞者が関係者とともに市役所を表敬訪問しました。なお同部門で鹿屋市は8年連続となる産地賞を受賞しました。

駅伝で全国大会に出場



11月18日、「平成27年度鹿児島県総合体育大会駅伝競走大会」で優勝し、九州・全国大会への出場を決めた田崎中学校駅伝チームの選手、監督らが市役所を表敬訪問し、次の大会へ向けて抱負を語りました。